



札幌市議会議員 厚別区

こじま ゆみ

★第3回定例議会、決算特別委員会にて質問しましたので、概要をご報告いたします。

地域とともに子どもを支える（質問者：こじま ゆみ）

— 東部児童相談所の新しい取り組み —

【質問】

白石区に開設された東部児童相談所について伺います。
地域での支援を進めるには、関係機関との連携と地域の理解が重要です。
開設にあたり、どのような対象に周知を行い、どのような効果があった
と考えているのか伺います。



【こども未来局の回答】

開設前に地域の会議で説明を行い、警察や区役所職員など600人以上を対象に内覧会を実施しました。これにより、児童相談所の役割への理解が深まり、地域で見守り体制づくりにつながりました。

【質問】

東部児童相談所と、所管区域内の北星学園大学や札幌学院大学との連携について伺います。
児童福祉分野への関心を高めるため、学生への実践機会の提供や就職支援体制の構築など、
どのように取り組むのか伺います。

【こども未来局の回答】

児童福祉の担い手確保のため、大学との連携を進めています。実習や一時保護職員の受け
入れを行っており、今後も学びと実践を通じて地域に貢献できるよう取り組んでまいります。



「今後の課題解決には、人材確保と職員の専門性
向上、一時保護負担軽減、関係機関との連携強化、
地域の支援力向上が重要です。また、大学との連携を
通じて児童福祉の発展に繋がることを期待します。」

地域の課題をデジタルで解決へ（質問者：こじま ゆみ）

ー 新・さっぽろモデル事業についてー

【質問】

「新・さっぽろモデル事業」は、国の「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用し、厚別区もみじ台・青葉地区で地域課題の解決と活性化をめざす取組です。令和6年度に新たに開始した3つのサービスの取組状況を伺います。



【デジタル戦略推進局】

オンライン診療、有償ボランティア派遣、歩行姿勢測定の3つを開始しました。歩行姿勢測定は健康意識の向上につながりましたが、他の2つは利用が少なく、今後の改善が必要です。

【質問】

専用タブレット端末の活用状況と成果・課題を伺います。



【デジタル戦略推進局】

地域の高齢者らに150台を配布し、地域情報の配信や健康動画の視聴などに活用しました。デジタル技術に触れるきっかけとなりましたが、データ数が少なく、個別最適化には至っていません。

また、「持ち運びに不便」との声もあり、今後はスマートフォンなどの活用を検討します。

【質問】

事業を通じ、もみじ台・青葉地区にどのような成果があったと考えるのか伺います。

【デジタル戦略推進局】

デジタルに親しむ住民が増えたことは成果ですが、地域課題の解決や活性化にはまだ課題があります。一方、「デジ茶屋」は多世代交流を促進しており、今後も地域に根付く取組として推進できるよう取り組んでまいります。



「デジタルの力を活用した地域づくりは、これからのまちづくりに欠かせません。もみじ台地区では、令和8年度に土地利用再編方針の策定が予定されています。今後も行政・民間・地域が連携し、モデル事業の成果を生かした持続可能な地域づくりを進めてまいります。」